

まなびっく だより

NO.3 発行日 2023年6月



～コロナ渦終息後に向けたセンター事業の充実を目指して～

一般社団法人 檜山地域人材開発センター運営協会

会長 田畑昌伸

センター前の八重桜が散り6月を迎え、初夏の兆しがいよいよ北海道にも近づいて来ております。皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。さて、5月8日から「新型コロナウイルス」の感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行いたしました。今後、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるほか、幅広い医療機関での患者の受け入れを目指すなど、3年余り続く国のコロナ対策は大きな節目を迎えることとなりました。

このような中、国の方針展開を踏まえ、コロナ渦前の水準に戻すべく事業展開を図っていかねばならないのですが、桧山は人口減少と少子高齢化により若者の流失や技能者の高齢化が進み、技能労働者の担い手の確保が益々困難な状況となってきております。また、他地域と比較して財政状況は厳しく、経済的には電気料金等エネルギー価格の高騰を受け運営は一層厳しい状況となってきております。しかしながら、地域人材開発センターの役割は必要不可欠であり、重要な任務を担っているのではないかと考えております。そのため、コロナ渦後の施設利用者及び講習受講生の確保に当たり、より一層、情報提供の充実にも努め、地域企業のニーズと課題を探り、魅力ある運営に努めてまいりたいと考えております。

今後とも是非、皆様方の積極的なご利用を役職員一同お待ちしておりますので、一般社団法人檜山地域人材開発センター運営協会に対しまして、末永くお引き立てを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和5年度 通常総会が終了いたしました。

5月26日（金）午後2時から一般社団法人 檜山地域人材開発センター運営協会の令和5年度通常総会を当センター3階研修室にて開催いたしました。総会では、桧山振興局地域産業担当部長の奥田祥文様、江差町副町長の田畑明様を来賓（内田道議会議員は所用で欠席）に迎え、委任状を含む73会員（本人出席22名）出席の中、4年度事業報告、決算、5年度事業計画、予算などが承認されました

役職名	氏 名	所 属
会 長	田 畑 昌 伸	檜山地域人材開発センター会長 江差建設協会会長・㈱田畑建設 代表取締役
副 会 長	林 勲	乙部建設協会 会長・㈱林組 代表取締役
副 会 長	室 谷 元 男	檜山地方職業能力開発協会会長
専務理事	大 坂 敏 文	檜山地域人材開発センター 専務理事
理 事	小 林 誠	檜山建設協会 会長・㈱小林建設 代表取締役
理 事	工 藤 幸 博	ひやま漁業協同組合代表理事組合長
理 事	成 田 司	檜山地方技能士会 会長
理 事	小 林 恭 平	北海道檜山管内商工会連合会長
理 事	能登谷 謙 一	厚沢部建設協会 会長・能登谷建設㈱ 代表取締役
理 事	瀧 澤 雅 敏	今金建設協会 会長・和工建設㈱ 代表取締役
理 事	近 藤 忠 夫	乙部町商工会 会長
理 事	高 野 忠	檜山渡島板金業組合 理事長
理 事	国 仙 勝 彦	㈱檜山電気工業 代表取締役
理 事	辻 希 良	江差塗装組合理事長
理 事	山 田 米 蔵	南北海道林業総合事業協同組合理事長
理 事	伊 関 寿 之	せたな町建設協会 会長・㈱伊関組 代表取締役社長
理 事	長谷川 俊 郎	㈱カイト 代表取締役
理 事	若 狭 正 仁	上ノ国建設協会副会長・㈱若狭組 代表取締役社長
監 事	海老原 孝	奥尻建設協会 会長・㈱海老原建設 代表取締役
監 事	三 上 修 吾	西野会計㈱ 専務取締役

【役員名簿 任期:令和4年5月27日～令和6年次期通常総会まで】

【桜山地域人材開発センター事務局職員】 ※センターに関するご相談は、TEL0139-52-0160 まで。

専務理事（事務局長）	大坂 敏文	（統括）
総務課総務主任	細川 真紀	（総務経理全般担当）
研修課研修係	辻 将史	（研修全般担当）
研修課研修係	木村たみえ	（宿泊研修担当）

【令和4年度 梶山地域人材開発センター「まなびっく」各種講習会】



「フォークリフト運転講習」

- ・日 程：令和4年4月19日～22日
- ・会 場：江差町運動公園駐車場
- ・受講者：13名（漁協組合員）・委託先：コマツ教習所



「車両系建設機械（解体用）運転技能講習」

- ・日 程：令和4年5月22日
- ・会 場：人材開発センター グラウンド・受講者：10名
- ・委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター



「不整地運搬車運転技能講習」

- ・日 程：令和4年5月20日～21日
- ・会 場：人材開発センターグランド
- ・受講者：7名
- ・委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター



「刈払機取扱い作業者安全衛生教育」

- ・日 程：令和4年5月19日、6月16日
- ・会 場：人材開発センター土木実習室
※雨のため、実技は土木実習室で実施
- ・受講者：8名 (5/19)、19名 (6/16)
- ・委託先：林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部 函館分会



「フルハーネス型墜落制止用器具装着業務」

- ・日 程：令和4年6月16日
- ・会 場：人材開発センター土木実習室
- ・受講者：15名
- ・委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター



「伐木（チェーンソー）業務従事者特別教育」

- ・日 程：令和4年6月17日～19日
- ・会 場：人材開発センター建築実習室
- ・受講者：10名
- ・委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター

※7月以降の各種講習は、[令和4年度事業概要](#)をご参照ください。

この他、刈払機取扱作業安全衛生教育(10/13)、石綿使用建築物等解体業務特別教育(10/21)、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育(11/11)、介護職員初任者研修(6/19～10/19)、介護福祉士実務者研修(9/1～12/8)を実施しました。

宿泊研修棟 男女トイレ様式化工事完了写真 (R4. 8. 29 撮影)

◎発注者：江差町 ※写真 (TOTO) と同様型3基設置



檜山地域人材開発センター正面外壁改修工事完了写真 (R. 4. 8. 29 撮影)

◎発注者：江差町



令和4年度 檜山地域人材開発センター（まなびっく）施設の利用状況

令和4年度の施設利用総延べ人員ですが、7,178名と前年度比2,244名の増加、46%増となりました。内訳ですが、管理棟利用が6,586名で前年度比2,075名の増加であります。

次に職業訓練では、フォークリフトをはじめとする技能講習や安全衛生教育や特別教育、また介護研修などの受講生が145名で延べ310名と前年度比29名、延べでは45名の増加となりました。コロナ渦でも増員となった要因は、様々な手段を使った情報発信に努めたことが効果であったと分析しております。

施設貸与利用者は前年度比2,244名の増加があったわけですが、令和元年度のコロナ渦前と比べるとまだ80%程度より回復していない状況です。一方、研修宿泊施設の利用者についてですが、延べ592名で前年度比169名の増となりました。しかし、施設利用者と同様、まだまだコロナ渦前の水準には戻っていない状況です。

◆令和4年度収支計算書

(単位：円)

科目		予算額	決算額	増減	備考	
収入の部	会費収入	1,440,000	1,420,000	△20,000	正会員74団体、賛助会員22団体	
	事業収入	6,140,000	6,035,026	△104,974	職業訓練、住民講座	
	補助金収入	10,500,000	10,500,000	0	道補助金、市町村補助金	
	雑収入	320,000	311,389	△8,611		
	合計	18,400,000	18,266,415	△133,585		
支出の部	事業費	職員給与	2,420,000	2,415,620	△4,380	職員給与、諸手当
		福利厚生費	556,000	545,620	△10,730	社保、雇用、労災、中退共
		報償費	330,000	329,950	△50	講師謝金
		旅費	120,000	125,193	5,193	会議旅費他
		需用費	3,034,000	2,894,758	△139,242	訓練講習等消耗品、光熱水費、修繕等
		役務費	460,000	409,342	△50,658	電話、郵券、折込等
		手数料	470,000	397,455	△72,545	振込手数料等
		委託料	5,520,000	5,523,800	3,800	設備保守委託等
		使用料及び賃借料	1,330,000	1,324,072	△5,928	パソコンリース料他
		備品購入費	50,000	0	△50,000	
		負担金及び公課費	10,000	10,500	500	会議負担金
		計	14,300,000	13,975,960	△324,040	
	管理費	職員給与	3,270,000	3,266,902	△3,098	職員給与、諸手当
福利厚生費		688,000	678,151	△9,849	社保、雇用、労災、中退共	
旅費		250,000	211,790	△38,210	会議旅費他	
交際費		30,000	30,000	0	慶弔見舞金	
需用費		213,000	147,355	△65,645	事務消耗品、光熱水費等	
役務費		40,000	45,467	5,467	電話、郵券等	
手数料		35,000	32,935	△2,065	折込手数料	
委託費		30,000	27,225	△2,775	設備保守委託	
使用料及び賃借料		54,000	52,892	△1,108	NHK受信料等	
負担金及び賃借料		40,000	37,000	△3,000	北職能協年会費等	
計	4,650,000	4,529,717	△120,283			
合計	18,950,000	18,505,677	△444,323			
他会計への繰入金支出		600,000	600,000	0	特別会計へ繰入金支出	
事業活動支出合計		19,550,000	19,105,677	△444,323		

当期収支差額	△320,000	△102,812	217,188	
特定資産取崩収入	1,100,000	1,000,000	△100,000	
前期繰越収支差額	320,000	332,986	12,986	
次期繰越収支差額	0	230,174	230,174	

令和4年度事業概要

1. 職業訓練

訓練名	実施時期	回数	日数	受講者数	延べ人員	教習所・講師
フォークリフト運転技能講習(31H)	4月19日～ 4月22日	1	4	13名	52名	コマツ
不整地運搬車運転技能講習	5月20日～ 5月21日	1	2	7名	14名	キャタピラー
車両系建設機械(解体用)運転技能講習	5月22日	1	1	10名	10名	キャタピラー
刈払機取扱作業安全衛生教育	5月19日 6月16日 10月13日	3	3	57名	57名	林災防
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	6月16日 11月11日	2	2	31名	31名	キャタピラー 三谷先生(苫小牧)
伐木(チェーンソー)特別教育	6月17日～ 6月19日	1	3	10名	30名	林災防
石綿使用建築物等解体業務特別教育	10月21日	1	1	17名	17名	三谷先生(苫小牧)
介護職員初任者研修	6月19日～ 10月19日	1	3	7名	21名	日本福祉介護 教育センター
介護福祉士実務者研修	9月1日～ 12月8日	1	8	10名	78名	日本福祉介護 教育センター
計		11	26	145	310名	

2. 住民講座

講座名	実施時期	回数	日数	受講者数	延べ人員	講師
フラダンス教室	4～3月	25	1	5	121名	三上先生(函館市)
計		25	1	5	121名	

3. 施設貸与

名称	主な内容	延べ人員
各種会議等	協会総会・理事会 63名、各団体等の会議 31名	94名
研修・講習会等	各種セミナー・講習会	1,992名
社会教育関係等	文化・スポーツ団体	4,069名
計		6,155名

4. 研修宿泊施設

名称	主な内容	延べ人員
研修宿泊等	学校行事・各種競技大会・一般研修	592名
計		592名

令和5年度収支予算

(単位：円)

【センター2階・3階の会議室】

科目		予算額	対前年比	
収入の部	会費収入	1,430,000	△50,000	
	事業収入	6,230,000	810,000	
	補助金収入	10,715,000	215,000	
	受託収入	2,585,000	0	
	雑収入	215,000	△175,000	
	合計	21,000,000	800,000	
支出の部	事業費	職員給与	2,491,000	17,000
		福利厚生費	559,000	3,000
		報償費	2,850,000	250,000
		旅費	130,000	10,000
		需用費	3,970,000	1,220,000
		役務費	550,000	90,000
		手数料	540,000	△40,000
		委託料	4,050,000	△1,000,000
		使用料及び賃借料	1,250,000	△150,000
		備品購入費	50,000	0
		負担金及び公課費	10,000	0
		計	16,450,000	400,000
	管理費	職員給与	3,338,000	36,000
		福利厚生費	692,000	4,000
		旅費	260,000	10,000
		交際費	10,000	0
		需用費	230,000	50,000
		役務費	40,000	0
		手数料	60,000	0
		委託費	30,000	0
使用料及び賃借料	70,000	0		
負担金及び賃借料	40,000	0		
計	4,770,000	100,000		
合計		21,220,000	500,000	



《OA 研修室 (パソコン 11 台)》



《視聴覚教室 (40 名使用可)》



《研修室 3 (20 名使用可)》



《会議室 1・2 (50～60 名使用可)》



《研修室 4 (20 名使用可)》

会員の皆さんは使用料が半額となりますので、どうぞご利用をお待ちしています。

檜山地域人材開発センターの施設利用案内

この施設は、檜山地域の住民なら誰でも自由に利用できる施設です。

【施設料金表（税込金額）】

※会員は半額での利用となります。

施設名	使用料（1時間）				暖房料 （1時間）	備 考
	一般		会員様			
	平日	夜間 土日休日	休日	夜間 土日休日		
会議室1	1,100	1,650	550	825	310	各20名程度
会議室2	1,100	1,650	550	825	310	会議室1・2通して 50名程度
研修室1	1,100	1,650	550	825	310	20名程度（和室）
研修室2	1,100	1,650	550	825	310	10名程度
研修室3	1,100	1,650	550	825	310	20名程度
研修室4	1,100	1,650	550	825	310	20名程度
研修室5	1,100	1,650	550	825	310	20名程度（和室）
土木実習室	1,650	2,200	825	1,100	470	
建築実習室	1,650	2,200	825	1,100	470	
食品実習室	1,650	2,200	825	1,100	470	ガスレンジ9台等
OA 研修室	1,650	2,200	825	1,100	470	パソコン11台
視聴覚教室	1,650	2,200	825	1,100	470	35名程度
体育館	1,100	1,650	550	825	790	
グラウンド	無料	無料	無料	無料		

（ご利用時間）

- ・平 日≪午前9時～午後5時≫・夜間≪午後5時～午後9時≫
- ・土日祝≪午前9時～午後9時≫

（備 考）

- ・(1)人材開発センター会員様は、一般料金より半額でご利用いただけます。（但し、暖房料は除く）
- (2)暖房料金は11月1日から翌年4月30日までの間で必要に応じてご請求させていただきます。
- (3)営利を目的とした施設のご利用については、一般料金の2倍の金額となります。

一般社団法人

檜山地域人材開発センター運営協会

〒043-0061 檜山郡江差町字南ヶ丘7-172

TEL 0139-52-0160 FAX 0139-52-0188

発行責任者 : 専務理事 大坂 敏文